



CHAPTER 5

アップグレードの障害からの復旧

この章は、次の内容で構成されています。

- 「スタンドアロン ノードでのアップグレードの障害からの復旧」 (P.5-1)
- 「アップグレード中に SSH セッションが中断した場合のアプライアンスの復元」 (P.5-2)

スタンドアロン ノードでのアップグレードの障害からの復旧

アップグレードが失敗した場合にロールバックやリカバリを試みる前に、**backup-logs** CLI コマンドを使用してアプリケーション バンドルを生成し、リモート リポジトリに保存する必要があります。

シナリオ 1：データベース スキーマまたはデータモデル アップグレード中のアップグレードの障害

検出内容：コンソールおよび ADE.log に次のいずれかのメッセージが表示されている。

- ISE データ スキーマのアップグレードが失敗しました (ISE Database schema upgrade failed!)
- ISE グローバル データのアップグレードが失敗しました (ISE Global data upgrade failed!)
- ノード固有データの ISE データのアップグレードが失敗しました (ISE data upgrade for node specific data failed!)

ロールバック方法：最後のバックアップから復元してロールバックします。

アップグレードの再試行方法：

- ログを分析します。
- 問題を特定し解決するためには、生成したアプリケーション バンドルを Cisco Technical Assistance Center (TAC) に送信します。
- アップグレードを再試行するには、毎回新しいアプリケーション バンドルが必要です。

シナリオ 2：バイナリ インストール中のアップグレードの障害

検出内容：アプリケーション バイナリのアップグレードはデータベースのアップグレード後に発生する。バイナリのアップグレードで障害が発生すると、コンソールと ADE.log に次のメッセージが表示されます。

% システムでアプリケーションのインストール/アップグレードが失敗しました。破損したインストールを削除します (% Application install/upgrade failed with system removing the corrupted install)

ロールバック方法 : 以前の ISO イメージを使用して Cisco ISE アプライアンスを再イメージし、バックアップから復元します。

アップグレードの再試行方法 :

- ログを分析します。
- 問題を特定し解決するためには、生成したアプリケーション バンドルを Cisco Technical Assistance Center (TAC) に送信します。

アップグレードを再試行するには、毎回新しいアプリケーション バンドルが必要です。

アップグレード中に SSH セッションが中断した場合のアプライアンスの復元

検出内容 : SSH セッションまたはコンソールがアップグレード中に切断または中断される。

ロールバック方法 : 以前の ISO イメージを使用して Cisco ISE アプライアンスを再イメージし、バックアップから復元します。

アップグレードの再試行方法 : アップグレードを再度実行します。新しい Cisco ISE リリース 1.1.1 でアプライアンスがセカンダリ ノードとして使用されている場合、新しい ISO バージョンを直接インストールして新しいプライマリ Administration ISE ノードとして登録します。